

<報道発表資料>

令和 8 年 1 0 月 1 6 日
京都市文化市民局美術館

特別展「ラファエル・ザルカ：幾何学、時間、スケートボード」

写真、彫刻、映像、執筆などにより、科学史・美術史・ストリートカルチャーといった
異なる領域を軽やかに横断するフランス現代アーティストの実践

この度、京都市京セラ美術館で、下記のとおり展覧会を開催します。

【展覧会基本情報】

- タイトル：特別展「ラファエル・ザルカ：幾何学、時間、スケートボード」
- 会 期：令和 9 年 2 月 6 日（土）～ 5 月 5 日（水・祝）
- 会 場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 124
- 開館時間：午前 1 0 時～午後 6 時（入場は午後 5 時 3 0 分まで）
- 休 館 日：月曜日（ただし、3 月 22 日（月・休）、5 月 3 日（月・祝）は開館）
- 料 金：一般 1,800 円（1,600 円）
大学・専門学校生・高校生 1,300 円（1,100 円）
※すべて前売価格の設定はありません。
※（ ）内は 20 名以上の団体料金
※障がい者手帳等ご提示の方はご本人及び介護者 1 名無料（要証明）
※学生料金でご入場の方は学生証をご提示ください
- チケット販売日：令和 8 年 12 月 1 日（火）午前 1 0 時～
- 主 催：京都市、ソニー・ミュージックエンタテインメント、関西テレビ、毎日新聞社
- 助 成：ヴィラ九条山*、一般財団法人 NISSHA 財団
- 協 力：艸居
- 個人協賛：Seth & Yana Coren

*本展は、ヴィラ九条山のレジデンス修了者支援プログラムを通じて、アンスティチュ・フランセ、アンスティチュ・フランセ日本、ベタンクール・シュエーラー財団の支援を受けています。

【展覧会概要】

この度、京都市京セラ美術館において、パリを拠点に活動するアーティスト、ラファエル・ザルカ（1977-）の日本では初となる本格的な個展を開催します。ザルカは、幾何学、数学、彫刻、建築、スケートボードなど、異なる領域を横断しながら、形態と空間、運動と時間の関係を探求してきました。数学や科学の歴史、建築や抽象彫刻などに見られる幾何学的な形態や原理をリサーチし、それらを独自の視点から読み替えることで、彫刻、写真、映像、ドローイング、テキストなど、多様な作品へと展開しています。

ザルカの活動において、スケートボードは個人的な愛好を出発点とする重要なテーマです。スケートボードを通じて都市や建築の空間に身体的に関わるなかで、段差や傾斜、曲面、構造物などに潜む幾何学的な形態に着目し、既存の空間を本来とは異なる仕方で読み替えてきました。そこには、身体の運動と空間との関係だけでなく、公共空間を誰がどのように使うのかという問いも含まれています。

本展では、これまでの代表作に加え、京都での滞在・制作を通して新たに制作される作品も展示する予定です。彫刻、写真、映像、ドローイング、模型などを通して、ザルカが形態を発見し、リサーチと思考を経て作品へと変換していく実践を紹介します。

ザルカはこれまで、時代や場所を超えて、過去に生み出された形態や作品と対話を重ねながら、作品を制作してきました。本展では、そうした継続的なリサーチと対話の軌跡をたどるとともに、京都という新たな場所との出会いから生まれる作品を紹介します。

※本展は当初「思考する彫刻家 ラファエル・ザルカと堀内正和—幾何学とモダニティをめぐる対話（仮称）」として企画を進めておりましたが、諸般の事情により、ラファエル・ザルカの個展として開催します。

【作家プロフィール】

● ラファエル・ザルカ | Raphaël Zarka (1977-)

フランスに生まれる。パリ国立高等美術学校、およびウィンチェスター美術学校（英国）卒業。ザルカの「拡張された」彫刻分野の活動には、写真、ドローイング、文筆も含まれ、特にスケートボードの形態と空間に関する3つのエッセイの著者としても知られている。ザルカの制作手法は研究者や考古学者のそれを思わせ、自作を「ドキュメンタリー・スカルプチャー」とも称しており、特に、科学や技術の領域で美術史の周縁から借用される幾何学的形態の変遷に関心を寄せる。現在は17世紀ヨーロッパの自立型日時計の進化について実践に基づく博士号取得を目指して研究を進めている。

令和8年4月から7月にかけて京都に滞在し、リサーチや制作を行った。



Raphaël Zarka

Photo : Maxime Verret

© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo,
2026

<京都市京セラ美術館へのアクセス>

電 車：地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約 8 分

京阪電車「三条駅」から徒歩約 16 分

市バス：「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

<お問合せ先>

京都市文化市民局美術館

電話：0 7 5 - 7 7 1 - 4 1 0 7

報道機関からのお問合せ先

京都市京セラ美術館 広報

E-mail：pr@kyoto-museum.jp

電話：0 7 5 - 2 7 5 - 4 2 7 1